



定部金貳錢 廣五號十二休 日唯大祭福島縣石城郡平町長崎町三五
 一ヶ月廿錢 告字詰一行 日刊 日唯大祭福島縣石城郡平町長崎町三五
 定郵税五厘 料告字詰一行 日刊 日唯大祭福島縣石城郡平町長崎町三五
 電話六三〇番

刊夕日十月一十

職工の貯金
 常警毎日新聞
 仙台逓信局寄附の郵便貯金奨励資料より
 (四)

と云つたところが「ヤ、たま〜月給が増したと思へば右の始末がかういふ事ならあんな答へをせなんだらよかつたのに、云はぬばかりの顔をして、「へ〜有難う御座ります。これからは八圓宛積む事に致しまして」と澁々ながら承知したそれから今度は貳拾壹圓に進めた時と同じく昨日今日の問答をして貯金を拾壹

圓に殖やし、貳拾五圓に昇した時も貯金だけを増す事にして暮しは依然拾圓宛に止めさせて置いた。ところで貯金と云ふは妙なもので拾六圓の内から六圓宛を積ませた時は首でも取られる、かの様に辛かつて居たがその貯金が段々と殖へて百圓臺にのぼつて來たら金は使ふよりも積む方が面白いと云ふ有様で、貳拾五圓の時などは御定の貯金の外に暮しの金まで絞り出して積んだことがある。彼が此の山に居つたのは、三年あまりであつたが、少し譯があつて他の山に轉動させ、それから丁度七年期

經つて、ある日彼の處より一疋の反物と寫眞と手紙とを送つて來た、その手紙には「先生の御側を離れてからはや七年程になりましたがこの間少しも更へず守つて参りましたのは貯金の事で御座ります、その後月給が増します度にいつも一人が増します今日の間答を致します。又賞與金や心附を貰ひますときも同じ様な問答を致して見ますと、妙なものでいつも金が使へなくなつて仕舞ひます。私が貯金を始めましてから本年で丁度十年程になります御蔭様で貯金の總高は四千五百圓を越しました

◇助手募集
 男子(十五歳ヨリ)各一名
 女子(十八歳マデ)名宛
 右至急募集す本人來談の事
 平町南町(電話四十七番)
芹澤自動車部
 停留場 磐城銀行向

常磐文藝 明愛
 朝 外燈もほのつかれたる色
 みせて眠れる街をさ霧おほへる
 千早ふる神の社の朝まだき、さ霧のうちにかねふるふかも
 じつかなるかねの音き、つづり色を鮮かに見る朝はつづり
 うすぢみのみ山の雲に緋の色の日輪浮かび紅葉散りけり
 朝な朝なスピード飛球に場外の櫻紅葉は散りつづり
 ホームラン飛ぶ日はいさむ外野手のグローブこぼる球にくれど
 サアドベース盗みわたる瞬間を何にたぐへんせい一フセイフ
 晴れの日を山きはのぼる陽はまぶし紅くみゆるは霧こめし朝
 明朝は何を打たんと心おごる紅葉散る道のかへりくる時

モト
 電氣機械器具各種材料販賣
 電燈電力工事設計並ニ請負
 製作八日立製作所
 販賣ハ磐城工業商會
 株式会社日立製作所特約店
 東京電氣株式會社特約店
 器歴變とルト一モ
 すまじ致を理修の
 目丁四町半線警常
 番八一一話電
 會商業工城磐
 助治佐村中

吳服類は總べて
 安く良くは**電**の標語です
 必らず御満足して戴ける確信です
 一最近の當店へぜひお運びを願ひます
中野吳服店
 平町三丁目(電話六七番)

牛鍋仕出相始め候
三三三三屋

第二病室 高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町電話三一五番

松島名産
 カキ貝 御料理
 カキフライ 平田町
 其他品々 一の井
 吉例賣初 電話一六七番

食肉の好季
 一般の御家庭に幾分なりとも貢献致したい微意を持ちまして品質第一を商號とする弊店の食肉を是非御進め致します
 牛豚肉問屋
大塚吉藏商店
 平町四丁目川岸通り

活版印刷の御用命を御願ひ致します
 印刷日毎警常
 五三町橋長町平
 (番〇三六話電)

内科・外科・花柳病科
 耳鼻咽喉科・婦人科
赤心堂病院
 平町町電話四七五番

草野半天染部
 領受回数賞等一牌金
 町平國城磐
 場工染野草
 (番八四三話電)

大正生命保險株式會社
 平代理店
多田井質店
 平町大工町

銀なべ
 御入浴も御隨意です御散歩の折に是非從來同様御運び御風味の程を御願ひいたします
 牛豚氷
石川亭
 平町町電話四十三番

警中の 軍事教育

査 閱
來る十四日に

曩に中等學校以上の生徒に對し軍事教育實施以來縣立磐城中等學校に於ても配屬將校長島大尉教官の下に夫々實施中であつたがこの程度陸軍現役將校配屬令の定むる處に従ひ同校に於ける軍事教育に關し來る十四日査閱官の査閱を行ふことに決定された、當日は午前八時より平町高月臺なる同校庭に於て長島大尉指揮の下に九百六十一名の全校生徒が進退止整然たる演習を行ふべく各學校長等の參觀もゆ

梨の献上

片寄氏から
平町五丁目片寄敬太郎氏は梨二箱を攝政宮殿下に献上すべく申請方を縣に願ひ出た

磐城産の 身知らず柿

巨額の收益
石城郡内に於ける果實年産約廿二萬圓中俗に石城身知らずと稱する八夜柿は之を最近の統計に徴するに二十萬二千四百六十六貫此價格七

鐵橋にて 二名轢かる

列車が遅る
八日午後五時三十八分頃常磐線泉湯本間の藤原川橋梁を平發水戸行貨物列車が進行中三人連れの男女が鐵橋を通行してゐるを機關手金子負治氏が發見直に列車を停車せんとしたるも間に合

募集

文藝其他投稿を募集します
福島縣耶麻郡村松村々松八木沼金之助内縁の妻だけ(三)と判明したその爲め列車は十分間停車した

さんま輸送

専用車を連結
福島運輸事務所では石城産さんまの輸送のため十一月七日から十二月十日まで四倉から郡山福島まで専用車

知事を相手の 損害賠償公判

石城郡内郷村大字白水生れ川部村三澤居住佐藤源吉の長女藤江が居村内縣道トンネル落磐に依り慘死したの事は知事の責任なりとして本年三月十七日香坂知事を相手取り損害並びに慰養料二千七百八十六圓の請求訴訟を起した公判は昨日午前九時より平支部にて原告側仲里辯護士被告側北川辯護士列席開廷證人の喚問あり次回は來年二月一日開廷する

貨車輸送の 圓滑を圖る

平町に開かれた 驛長打合せ
鐵道關係の貨車輸送は毎年年末になるに従ひ贈答品その他で激増するを常とするが鐵道當局におけるこれが

交渉打合

せの上對策を講ずる事となり九日午前十一時から兩鐵道局管内仙臺、水戸、福島、上野各運輸事務所員並らび長町原の町、郡山、一の關、小牛田、平、綴、湯本、高萩、土浦の各驛長及び助役全部が平町白銀町鐵道俱樂部に 集合し兩鐵道局長の臨席を得て適當な對策講究について打合せをなし貨物輸送の圓滑を期することになった

石城で飲む酒

年一萬三千石
平稅務署管内に於ける現在

公金拐帶の郵便局長 平町に潜伏中捕はる

丸嘉橋本屋と稱し 手廣く毛糸問屋を営む
平警察署の吉田刑事部長は數日來より部下刑事を督勵して平町新川町方面に活動を續け極秘裡に取調べを爲してゐたが八日夕刻仙臺邊信局書記田鹿恭明氏來平何事かを

打合せ

するところ
あり九日午前九時頃に至り一人の商人風体賤しからざる男を平署に引致し吉田部長係にて嚴重取調べを爲してゐるが事件は極秘に附され窺知するを得ないが

探聞す

るところに
よれば昨年八月中鹿兒島縣



家庭欄

卸問屋

をなし手廣く營業を爲してゐる大根某が犯人與一に酷似し居るので吉田刑事部長以下刑事が捜査に苦心中であつたもので取調べを進めると大根某は全くの眞犯人と判明し夕刻平檢事局に送致し即日宇十女とイヌバタ二女とを毛ふるひにかけて同じく手の先で擦りこし出し時々堅目に煉りませ、パン粉を少し撒布した平板の上に糊ひ出しこれを五六枚位づつに摘み切り平たくしこの上に前に述べた栗餡十二枚位づゝ置き、これを普通の饅頭を作るやう腰高に丸めぬれ

窓口から

のぞいた景氣
生活苦の果ては血なまぐさい及傷沙汰を醸してゐるまで押迫つた本縣濱通り地方經濟界の實際を今平町裁判所登記所の窓口からのぞいて見ると同所管内で十月中取扱つた不動産登記總件數は 三百九十九件で内土地建物の賣買七十七件が最も多く、次ぎに同抵當權五十七件家督相續による土地建物の登記十件其他であるが之れを昨年の同期に比すると總件數において十五件の 増加を示してゐるに過ぎないが本年一月から十月までの統計比較をすれば本年は六百六十七件と云ふ異常な増加を示してゐる、二三年前などは登記所の仕事も誠に閑散であつたが

昨年以來 急に多忙

になつて來た何れにしても登記所は財界の好況期と不況期の兩極端に立ち至つて場合は多忙であると同所員は語つてゐる

齒並らび自慢會は

どなたも歓迎します
奮つて御参加下さい
本社は口腔衛生普及の一端として左記要項に基き齒並らび自慢會を催します、どうぞどなたも奮つて御参加下さいまして模範的に強健な齒並らびをお示し願ひます

- 一、會期、來る十五日 (日曜)
- 一、會場、未定
- 一、參加資格、何人も自由
- 一、賞與、(一等)十圓(二等)八圓(三等)五圓(四等)三圓(五等)一圓各一
- 一、名宛、此外副賞品を呈す
- 一、審査長、齒科醫原精一氏
- 一、審査方針

△審査方法は最初豫診を爲し次に本診に依つて優劣を決定す△豫診の際口腔に疾病ありと認められし者は失格者と爲し本診を受くる事能はず△本診は嚴密なる専門的觀察に依りて審査す△同一なる状態に在りて優劣の差なき場合は年長者を以つて優良者と定む△年齢七十歳以上に及び口腔の疾病を認めざる者は別に是れを表彰す

留野豫審判事の令狀により 平刑務所未決監に收監され

た

登記所の

窓口から

留野豫審判事の令狀により 平刑務所未決監に收監され

た

登記所の

窓口から